

令和4年度 自己評価書

学校名	和歌山市立 宮 小学校
校長氏名	田中 いずみ
作成日	令和 5年 3月 7日

1 教育目標

心身共にたくましく、明日の社会を築く、創造性豊かな子どもの育成

2 本年度の取組についての評価

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	<ul style="list-style-type: none"> ・県学習到達度調査で基本問題の正答数が県平均を上回る ・わかる授業、子ども主体の授業を 実践したと思う(児童・教師90%) 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校が楽しいと感じる(児童90%) ・いじめの解消率100% 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に運動を行うよう計画し、実践した(教師90%) ・給食後の歯みがき(児童100%) 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の様子がよく伝わった(保護者90%) ・保幼小又は中学校区で接続、連携した取組を具体的に実践できた(教師90%)
重点目標【P】	<ul style="list-style-type: none"> ◎基礎・基本の確かな定着 ◎「授業」で子どもを鍛える ○家庭学習の定着 ○読書活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ◎同和・人権教育、道徳の充実 ◎いじめの未然防止、早期発見 ○仲間づくりの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ◎体力向上の推進 ◎基本的生活習慣の確立 ○危機回避能力の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ◎家庭・地域との連携充実 ◎地域の資源活用の推進 ○保幼小の接続、中学校区における学校間連携の推進
取組の状況【D】	<ul style="list-style-type: none"> ○聞く姿勢を育て、学びのルールの定着を図る ○授業で「和歌山の授業づくり基礎・基本3か条」を徹底させる ○家庭学習の手引き活用し、保護者と協力しながら定着を図る ○読み聞かせ、家庭読書、親子読書を推進する 	<ul style="list-style-type: none"> ○教科等指導、生徒指導、学級経営で、より良い人間関係作りに努め、子どもの自己肯定感を高める ○いじめアンケートを年間に複数回実施、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努める ○子ども同士が関わる機会を増やす 	<ul style="list-style-type: none"> ○体育科の学習で、体づくり運動、走・跳に関する運動を推進 ○給食後の歯みがきについてはコロナ禍でもあるので、生活チェックを年2回実施し児童の生活実態を把握することに変更 ○避難訓練や交通安全教室を計画的に行う 	<ul style="list-style-type: none"> ○各種便り、HP等で学校の情報を発信。授業や行事等の公開 ○ゲストティーチャーや、ボランティア等の人材や、地域の自然・文化を活用する ○情報交換・見学・交流会等で、保幼小の接続、中学校区での幼小、小中の連携を推進・充実する
取組の成果と課題【C】(評価)	<ul style="list-style-type: none"> ・5年生理科-7.8%、国語-6%、算数-3%と県平均を下回った。(昨年度比較で平均-4.6%) ・わかる授業、子ども主体の授業(児童83.8%・教師81%) 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校が楽しい(児童95%) ・いじめの解消率(学期毎のアンケートにて個別対応⇒解消率100%) 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に運動を行うよう計画し、実践した(教師78%) ・睡眠不足が原因で体調を崩す児童が増加。現職教育でSNSに潜む危険についての研修を行った 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の様子がよく伝わった(保護者87%) ・保幼小又は中学校区で接続、連携した取組を具体的に実践できた(教師40%)
改善方法【A】(次年度に向けて)	<ul style="list-style-type: none"> ・普段の授業を充実させる(重要課題) ・「わかる授業・楽しい授業」のための創意工夫 ・子どもたちの学習意欲を引き出し、楽しく学習できるよう更なる教材研究 	<ul style="list-style-type: none"> ・安心できる学校、何でも話せる学級であるために、子どもの姿をしっかり把握する ・保護者との連絡・連携を充分にする ・SC、通級指導教室や関係機関と連携して取り組む 	<ul style="list-style-type: none"> ・体育科の学習で、体づくり運動、走・跳に関する運動推進を意識して充実させる ・SNSの危険性を児童にも伝えると共にSNS研修を保護者に行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・広報活動を充実させる ・保幼小又は中学校区での接続、連携した取組について、日進ブロック内で情報交換しながら、実施可能な取組を増やしていく

3 その他の課題

<ul style="list-style-type: none"> ・読書に親しむ環境づくりを引き続き継続する ・学校図書館ボランティアの協力を得ながら、時間をかけても「しなやかな人間形成」を育む図書館教育を推進する ・コミュニティスクールとして学校・家庭・地域が連携し、取り組めることを企画し実施する ・特に支援の必要な保護者、児童に対し、関係機関との一層の連携強化をおこなう
--